

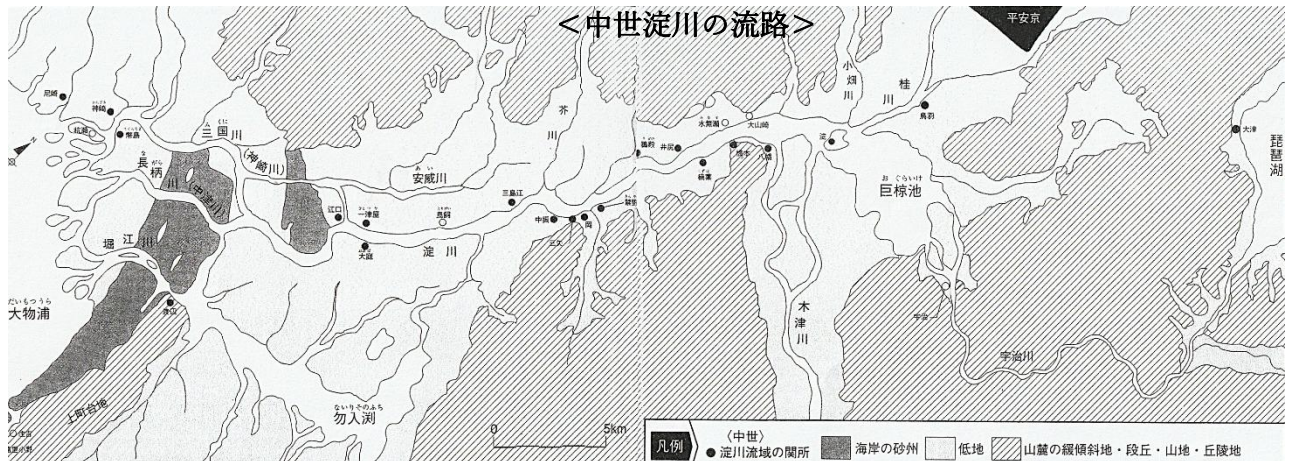
## 13期 北摂の歴史ロマンを愉しむ トピックス(10月①)

日時：10月10日（金）10：00～12：00

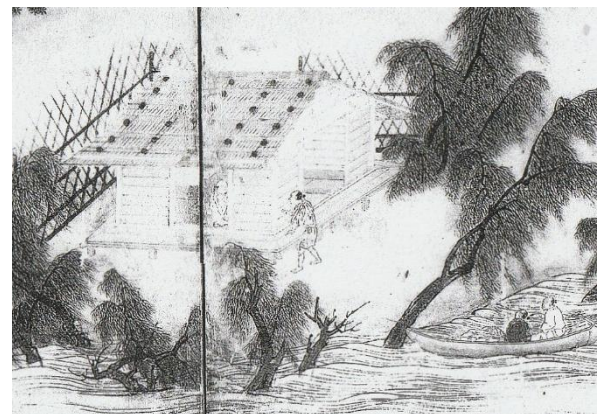
教室：高槻センター街ビル

講師：福島克彦 大山崎町歴史資料館 館長

内容：「中世の淀川水運と荘園」



- 1,現在と相違する淀川の景観 前近代は桂川,宇治川,木津川は淀で合流、山崎地峡では一本
- 2,摂津の荘園 初期荘園 東大寺水無瀬荘「東大寺村」、興福寺や東寺なども  
中世 権門（天皇、公家、寺社）による土地支配、在地農民層の成長
- 3,渡し場の様相 山崎橋(山城－河内)→山崎の渡し、楠葉中野芝(屋敷地・淀川に道路直交)
- 4,水路関の成立と展開 淀川舟運の展開(石清水神人:真宗信徒往来、大山崎神人:荏胡麻集積)、  
水路関の始まり(経済的関－貢納物輸送ルート確保→大社寺の造営・修繕費用徴収)、  
水路関の景観(淀川沿岸の関所、集落・地元住民と関わり、地域社会にとけ込む活動)
- 5,渡しから都市、寺内町の形成 淀、八幡、橋本、楠葉、渡辺など



<水路関>

以上

<班活動>日時：10月10日（金）13：00～15：00

各班別にふれあい交流祭の展示内容の検討

日時：10月17日（金）10：00～12：00

教室：ONCC 豊中教室

講師：橋田正徳 豊中市立郷土資料館 館長

内容：「中世の神崎川と瀬戸内水運」

- 1, 庄本遺跡の発見 古代～複数時代にまたがる鎌倉時代の集落遺跡、運河跡や出土品から「河尻」の一部を構成する中世前期の流通拠点(2002年発見)
- 2, 棕橋荘の櫓物座 承久の乱の発端になった荘園、荘園の中心が庄本遺跡、中世摂津国の手工業者・商人集団の活動拠点。蔵人所に貢納し交易市や商圈を確保。
- 3, 庄本遺跡と垂水西牧榎坂郷の住吉市庭 瀬戸内流通・神崎川水運の中継地  
石鍋関連遺物から居住者(石鍋再加工の商職人)は搬入品をもとに畿内各地、播磨方面で交易活動を行い、瀬戸内沿岸部などとも交易を行う存在であったと想定。
- 4, 平安京中心の流通構造とは本当にあったのか  
河尻は瀬戸内水運の最東端、物資は瀬戸内→神崎川→淀川→京（古代からの流通ルート）  
上町台地北端の渡辺津ではなく河尻が本当の難波津では



<庄本遺跡>



以上

<班活動> 日時：10月17日（金）13:00～15:00

午後からの班活動は班別に分かれ、ふれあい交流祭の準備をしました。

各班活発な意見交換や資料作成に取組み、準備は着々と進んでいました。



(2 班広報)